

白門ライオンズ会報

Quarterly of Lions 2024.1-2-3-4 No.32

東京白門ライオンズクラブ <http://hakumon-lions.org/>



1月17日 於 法曹会館 中央大学常任理事・塚原由紀夫様、新入会員・桂やまとLを囲んで



3月6日 於 法曹会館 奨励賞受賞の権慧蓮さん、西森智子さんをお迎えして。白獅子会支部卒業生を送る会併催

寄稿

鈴木誠先生を偲んで～気合で入会20年

第12代会長 L境 捷彦



鈴木誠先生との初めての親しい出会いは、初代ゴルフ会長の故・紺野稔Lのホームコース日高CCで開催された白門ライオンズゴルフ会に参加し、その当日に鈴木先生のご自宅で校歌を唄う会を開催したのが最初と記憶しています。その前に一度、四谷クラブで開催したこともありました。

コロナ禍前までは鈴木先生のご自宅で奥様の順子さんと協力のもと、応援の福田さん、眞島さんご夫妻と駆けつけていただき、それは豪華絢爛！楽しい校歌を唄う会でした。鈴木先生のご母堂がよく階段に座られて楽しんでいたので思い出します。

中山正暉先生ご夫妻の歌、鈴木先生の奥様の歌、鈴木先生憧れのハワイ航路の歌、西村協楽団の伴奏、白門ライオンズの歌を作曲・平岩佐和子先生のご指導のもと歌い楽しみました。暖かい時期は2階ベランダも会場にするときもありましたね。サンミ高松のお食事をいただき、高級ワインに酔いしれました。福原紀彦先生ご夫妻、河合久学長、佐藤信行副学長をはじめ、多くの中央大学の先生方も参加され楽しんでいただきました。

鈴木先生は紺野ゴルフ会会長の急逝後にゴルフ会会長を永く務めていただき、コンペの度に多額のドネーションをしてくださり、会の発展に尽くしていただきました。あるとき、鈴木会長が優勝できるようにと榎Lと相談し、ハンデ枠40を取っ払い、たくさんのHCを付与、と粋な計らいをしましたが、残念ながら優勝の機会はありませんでした。ゴルフを辞められて岡本睦治Lに会長をバトンタッチされました。

ライオンズクラブの例会



歳忘れホームパーティにてご挨拶される鈴木誠先生(2016年12月16日)



玉堂美術館、うかい亭にてお花見例会(2011年)

では、大学学員情報を担当され毎回最新情報をメンバーに届けていただきました。

その昔ライオンズクラブには、南甲倶楽部の会合で榎Lに勧められて入会しました。初会合開催当日、当時あまりライオンズクラブの知識もなく、高邁な精神に基づいて立ち上げられたクラブなので中央学出身の名だたる経営者は皆参加するものと思いましたが、見知った方は誰もおらず、大変戒厳な顔をしてお互い会話もなく戸惑った記憶があります。

発足当初は、退会された大家一光L、新宿ライオンズクラブから転籍の富樫重男L達が大活躍！当会計担当だった故・杉浦康雄Lも大活躍され、法政ライオンズクラブとの合同5周年CNの際に法政大との席割で立腹され一時的に例会を欠席されたこともありましたが、同じ総武線で帰途に着いたのが思い出されます。

また、杉浦Lの姪御さんであるピアニスト・田中あかねさんにクラブ行事で演奏をしていただいたこともありましたね。

昔のクラブ行事は家族参加が多く、熱海大観荘での5大学旅行例会では紺野Lはお子さん、お孫さんまで連れて大人数で参加されていました。納涼例会・クリスマス例会も多くのメンバーが家族同伴。榎L、大越L、L境も子ども・孫と一家総出で参加し大変楽しいものでした。お花見例会も多摩校舎、浜離宮恩賜庭園、滝山公園など屋外型の例会でした。大越Lのいたざらっ子だったお孫さんが現在は白獅子会のメンバーで、経済学部学生として私の後輩となり、好青年に育ち嬉しい限りです。

東京白門ライオンズクラブの発展とともに現在は中央大学との関係も深く、白獅子会も創設されました。若く元気なクラブとして発展していることは喜ばしい限りですが、一抹の寂しさを感じます。大黒柱の鈴木誠終身名誉理事長が急逝され、現在白門ライオンズクラブは度重なるCN記念例会で財政困難な状況が迫り、クラブ存続の正念場となっております。

老いも若きもメンバー相協力しての知恵の出どころだと思います。鈴木終身名誉理事長、長い間ありがとうございました。



鈴木誠先生のご自宅で校歌を唄う会(2016年5月15日)

寄稿

中央大学の献血会報告

幹事長 L大久保 英彦

[GST献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会 委員長]



中央大学で今年初めて開催した献血会の報告です。

1月10日(水)と11日(木)の2日間、多摩キャンパスで行い、今回は骨髄バンクのドナー登録会も併催しました。白獅子会に加え、昨年11月から赤十字学生奉仕団と一緒に活動を行っています。赤十字学生奉仕団はこれまで「コアラ」という名称で活動していましたが、昨年は部員がいなくなり休止状態でした。そこで文学部1年の青山佑樹さんが友人を集め、活動を再開されたそうです。今後は献血に加えて救護活動などにも取り組みたいそうです。1月17日の第一例会に見学に来ますので白獅子会の入会も勧めたいと思います。

10日は申し込みが38名でそのうち献血されたのが34名、骨髄バンクのドナー登録は4名。11日は申し込みが41名でそのうち献血されたのが32名、骨髄バンクのドナー登録は5名という結果でした。11日の終了後、活動に参加した学生5名と根岸会長、私の7名で恒例の蕎麦屋例会を行いました。箱根駅伝の応援の様子や、応援団の新体制なども聞けて楽しい会となりました。

2022年11月から新しいアクティビティとして献血活動が始まり、これまで10カ月、合計17回の献血会を開催しています。協力者は852名でそのうちの685名が献血しました。骨髄バンクのドナー登録者は25名です。これまで白門ライオンズクラブメンバーの参加者は合計で50名、白獅子会は56名に協力していただきました。

白門ライオンズクラブでは毎回、献血された方に記念品を提供しています。ウエットティッシュや携帯用アルコールジェルに「東京白門ライオンズクラブ」や「東京白門ライオンズクラブは骨髄

バンクを応援しています」といったシールを貼付しています。この作業は白獅子会の皆さんに協力していただいています。

また、私が委員長を務めるGST献血・献眼・献腎・骨髄移植委員会では、学生献血に使用するという目的でモバイルバッテリー1,000個の購入手続きを行いました。昨年11月のキャビネット会議で説明し、承認を得てLCIFクラブシェアリング交付金事務局に583,000円を申請し、承認されました。事前に日本赤十字社の子会社の日赤サービスに価格交渉を行い15%ほど値下げしていただき、通常は1,000円以上する品物が安価で購入することができました。今後の学生献血の会場で配布することになります。

今や献血活動では白門ライオンズクラブの活動が大きく貢献しており、330-A地区内でトップクラスの成績を上げています。協力していただいているメンバーの皆様に感謝申し上げます。

白獅子会の皆さんも授業や部活がない日に参加し、献血の呼びかけや記念品の準備と配布などの協力をしています。

献血会では、午前の応援に来た学生と昼食の休憩時に学校生活やクラブ活動、就職活動など様々な話をします。献血会終了後は毎回、多摩センター駅にある蕎麦屋で反省会と称して楽しい飲み会を行っており、スケジュールが合えば白獅子会学生支部の皆様も参加しています。学生の皆さんは大学の先輩の経験やアドバイスなどを熱心に聞き、楽しんでいます。これから期末試験や入学試験、卒業式など多くの行事が予定されているため、次回は4月に開催する予定です。メンバー皆様のご参加を心からお待ちしています。蕎麦屋例会のみの参加も大歓迎です！



寒いなか多摩キャンパスでの献血会活動に取り組んでくれました！



2024年1月17日 (水)
1月第一例会 於 法曹会館



ご来賓の中央大学常任理事・塚原由紀夫様をご紹介 佐藤信行副学長のご挨拶 白門ライオンズの歌斉唱



当時ご来賓として参加くださった桂やまとL 2022~2023年度クラブ優秀賞を授与 中央大学学生赤十字奉仕団・青山侑樹さん(文学部1年生)によるご挨拶

2024年1月23日 (火)
五大学新年例会 於 南国酒家原宿店



東京駿河台ライオンズクラブ様ご提供

2024年2月7日 (水)
2月第一例会 於 法曹会館



白門ライオンズの歌斉唱 林家つる子師匠の真打昇進発表 ファインドネーション発表(増淵L、佐野L)



桂やまとL 入会式 祝!! お誕生日 根岸会長、増淵L

2024年2月20日 (火)
法政ライオンズクラブ 20周年記念大会 於 明治記念館

大学のライオンズ発足は今から20年前、2005年3月に中央大学、5月に法政大学で結成され、チャーターナイト5周年記念と、ともに歩んできた仲の良いクラブです。当クラブからも多くのメンバーが出席いたしました。【L大越武雄・記】



山浦晟暉Lのご挨拶 ライオンズクラブ代表メンバーで鏡割り 各クラブから200人超の参加者

2024年3月6日 (水)
3月第一例会 於 法曹会館

3月6日の第一例会で白獅子会支部卒業生を送る会が行なわれました。今年の卒業生は16名で、そのうち3名が出席しました。後輩の皆さんが11名加わり合計で14名が参加しました。

第二部では白獅子会の卒業生を送る会が行われ、学生支部の幹事長を務めていただいた久野未菜歩L、昨年度、応援団120名を統率した応援団長の石渡樹来L、チアリーディング部副部長の中村千夏Lから学生生活やクラブ活動、白獅子会の思い出、そして今後の進路などについて披露されました。大石優花会長はオーストラリアに語学留学中ということで、久野幹事長からメッセージが読み上げられました。

その後、後輩からひとりずつ、お世話になった先輩に思い出や贈る言葉を語っていただきました。また、次期執行部の紹介があり、会長にはチアリーディング部の鈴木彩音L、会計は永川凛L、幹事長に宮崎ひな花L、幹事に奥津ひなたLが就任すること

が披露されました。最後に、これまで指導されてきた佐藤信行L(中央大学副学長、応援団チアリーディング部部長)から、はなむけの言葉と記念品が贈られました。

例会の最後に、卒業生に向けて応援団リーダー部の小林良輔団長はじめリーダー部の皆さんによるエールが送られました。学術奨励賞を受賞された2名にもエールが送られ、初めての経験に驚いていました。学生が14名参加した例会は活気に満ちていて、出席されたメンバーも後輩との交流に時間を忘れて楽しんでいました。白獅子会学生支部の皆さんも久しぶりの親クラブとの交流を楽しんでいただきました。

卒業生の皆様とは交流を続け、将来は白門ライオンズクラブに入会していただけるのではと期待しています。卒業生の今後の活躍、そして白獅子会の活動にも注目しましょう。

【L大久保英彦・記】



卒業生と奨励賞受賞者へエール



後輩からの贈る言葉



奨励賞授与式に挨拶される権さん、西森さん 入会ご希望の藤田裕司様 教授も参加しての懇親会 卒業生との名残惜しい食事風景

2024年3月23日(土)

お花見例会 於 上野・韻松亭

3月23日(土)は上野公園内にあります、韻松亭へ。1番広いお部屋を貸し切って開催いたしました。

こちらの場所は、例年の桜の開花予想に合わせて1年前から予約しておりました。しかし今年に限って寒さが続き、蕾もまだ見えないほどの枝見桜となってしまいました(笑)。



韻松亭にて乾杯風景



色とりどりの春らしい御膳



駿河台LC田中亜紀子会長のご挨拶



左から小川晶子L、中山正暉終身名誉会長、石井征二G、今井文彦G



今井文彦Gのご挨拶



団楽の会食風景

今回のゲストは石井征二G、今井文彦G、小川晶子Lなど多くのメンバーにご参加いただき、中山正暉終身名誉会長も芦屋からご出席くださいました。

座敷の中は満開となり、上野のお山もたくさんの賑わいを見せていました。 【L大越武雄・記】

2024年4月3日(水)

4月第一例会 於 法曹会館



元気よく校歌を唄うメンバー



テルツイスターは増淵Lと代理の宮崎L



入会式



新入会員の藤田裕司Lと吉田愛L



佐藤信行副学長のご挨拶



2024年4月8日(月)

五大学カラオケ大会 於 神楽坂おきな

4月8日(月)に神楽坂「おきな」で五大学カラオケ大会が行われました。白門ライオンズクラブは当番校であり、募集から会場とお弁当の手配、当日の運営を任せられました。

参加者は桜門LCから村木秀之元ガバナー(支援会員)、松尾昭俊L(支援会員)が入り3名、セントポールLCから2名、駿河台LCから2名、法政LCから3名、そして白門LCから根岸会長、榎L、大越L、境L、たちばなえみ様、L大久保の6名、合計で16名が参加しました。

根岸会長から開会の挨拶が行われ、村木元ガバナー、松尾Lの挨拶が続き、その後ルールの説明を行いました。今回は受付時のくじ引きで予め順番を決め進行、採点は機械の点数により、一発勝負です。プロ歌手(後藤ZC、たちばな様)は採点なしで歌っていただきましたが、さすがの歌唱力、われわれ素人とはまるで違います。



今回の当番は当クラブ、榎Lの司会ぶりが光ります



東京法政LC後藤裕文ZCもさすがの歌唱力



個人戦優勝の駿河台LC田中亜紀子会長

さて、全員が歌い終わり、採点結果の発表です。昨年は西Lと竹内Lの健闘により、優勝、2位を獲得しましたが、今年はいかに……境Lが2位、L大久保が3位、榎Lが4位、根岸会長が5位と、優勝は逃したものの上位を占めました。

団体戦は上位2名の合計点で争い、0.138点の差で惜しくも2位でした。個人戦の優勝は駿河台LCの田中亜紀子会長が八代亜紀の「雨の慕情」を熱唱、91.778点という、ぶっちぎりの高得点でした。この点数が団体戦にも貢献し、駿河台LCが見事に優勝を飾りました。

開始から2時間でいったん中締めとなりましたが、歌い足りない皆さんが次々とリクエストを入れていました。和やかで楽しいカラオケ大会です。のど自慢、歌自慢の皆様のご参加をお待ちしています。 【L大久保英彦・記】

2024年4月17日(水)

4月第二例会 於 シーボニアメンズクラブ



ビジターとして大里堅L(東京渋谷LC)にご参加いただきました

ご報告

中央大学学生奨励賞合同授与式 受賞者からのお礼状

3月19日(火)、中央大学多摩キャンパスで2023年度の学生奨励賞合同授与式が行われました。

学術、社会、文化、スポーツなど77の個人や団体が受賞しました。そのうちの代表16名が授与式に参加しました。東京白門ライオンズクラブでは、学術奨励賞(有為な人材の育成に資することを目的として、博士課程前期課程・修士課程に在学する外国人留学生のうち、優秀な成績をもって課程を修了し、かつわが国と出身国を結ぶ架け橋として活躍が囑望される方に授与するもの)と法務研究科学術奨励賞(将来法曹として活躍が期待される人材の育成に資することを目的として、社会実務等の経験を有して法務研究科に入学し、在学中の業績が顕著と認められた学生に授与)を毎年授与しています。

第19回学術奨励賞には、大学院総合政策研究科の権慧蓮様、第10回法務研究科学術奨励賞には法務研究科の西森智子様が

第19回東京白門ライオンズクラブ
学術奨励賞授賞
中央大学大学院総合政策研究科
総合政策専攻 博士課程前期課程

権 慧蓮さん



選ばれ、根岸清一会長から表彰状と記念品が贈呈されました。お二人の今後の活躍に期待しましょう。

中央大学学生奨励賞合同授与式



第10回東京白門ライオンズクラブ
法務研究科学術奨励賞授賞
中央大学大学院法務研究科
法務専攻 専門職学位課程

西森 智子さん



拝啓

ようやく春が来て、木の芽もはらみ始めました。皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度は、東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞を賜り、大変光栄に存じます。誠にありがとうございます。私に与えてくれた賞は中央大学での学生生活を改めて振り返る貴重な機会となりました。学部3年、大学院2年、入学してから多くの方に出会いました。特に素晴らしい先生方や先輩、同輩や後輩の皆様へ思い、さまざまな支援をいただき、お陰で非常に充実した日々を送ることができました。今回の受賞を励みに、これからも中大卒業生であることに誇りに思い、社会に貢献できるように努めたいと思います。この度の受賞について、重ねて深くお礼申し上げます。春夏秋冬、四季折々のご健勝をお祈り申し上げます。今後なお一層の自愛の程をお祈り申し上げます。

敬具

令和六年三月十八日

総合政策研究科総合政策専攻博士前期課程2年

権 慧蓮

拝啓
残春の候、お慶び申し上げます。この度は、法務研究科学術奨励賞を賜り、大変光栄に存じます。誠にありがとうございます。私に与えてくれた賞は中央大学での学生生活を改めて振り返る貴重な機会となりました。学部3年、大学院2年、入学してから多くの方に出会いました。特に素晴らしい先生方や先輩、同輩や後輩の皆様へ思い、さまざまな支援をいただき、お陰で非常に充実した日々を送ることができました。今回の受賞を励みに、これからも中大卒業生であることに誇りに思い、社会に貢献できるように努めたいと思います。この度の受賞について、重ねて深くお礼申し上げます。春夏秋冬、四季折々のご健勝をお祈り申し上げます。今後なお一層の自愛の程をお祈り申し上げます。

令和六年三月十五日
中央大学法務研究科 西森智子
敬具

ご報告

中央大学附属高校の卒業式に参列

毎年、中央大学附属中学・高等学校へは、各学とも東京白門ライオンズメンバーが2名、そして大学からも出席しております。今年も奨励賞をお渡しするため、中央大学高等学校・杉並高等学校へは会長とライオンズメンバーが直接お渡しいたしました。

- 中央大学高等学校(3月1日)
根岸清一(第20代会長)
榎秀郎(第10代会長・創立者)
- 中央大学附属高等学校(3月1日)
河野信之(第18代会長)
大久保英彦(幹事長)
- 中央大学附属横浜高等学校(3月1日)
水津正臣(第11代会長)
大越武雄(理事・総務・広報委員長)
- 中央大学杉並高等学校(3月9日)
榎秀郎(第10代会長・創立者)
大越武雄(理事・総務・広報委員長)
- 中央大学附属中学校(3月9日)
河野信之(第18代会長)
大久保英彦(幹事長)
- 中央大学附属横浜中学校(3月16日)
大越武雄(理事・総務・広報委員長)
岡田孝子(理事・元副会長)



中央大学高等学校の優秀生徒へ根岸会長より奨励賞の表彰



中央大学附属横浜高等学校の卒業式に水津Lと大越Lが出席



中央大学附属高等学校(上)と中央大学附属中学校(下)に出席する河野Lと大久保L



中央大学高等学校...4名
中央大学杉並高等学校...7名

中央大学附属高等学校...8名
中央大学附属横浜高等学校...7名

中央大学附属中学校...4名
中央大学附属横浜中学校...4名

以上、大学合わせて36名。当クラブ結成以来、優秀な生徒に奨励賞の授与を行っています。

ご報告

与野新都心ライオンズクラブ様へ感謝状

昨年11月26日(日)に行われました東京白門ライオンズクラブの結成20周年記念大会に際しまして、ご招待させていただきました与野新都心ライオンズクラブ様より「精米250キログラム」をご恵贈くださいました。

当クラブライオンでもあります佐藤信行副学長より、学友体育連盟所属部会員の多くが寄宿する南平寮のほか、陸上部・硬式野球部・漕艇部・相撲部・ラグビー部・スケート部へ拝領されたご報告と、中央大学学生へのご支援に対し感謝状が送られました。

温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。与野新都心ライオンズクラブ様のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

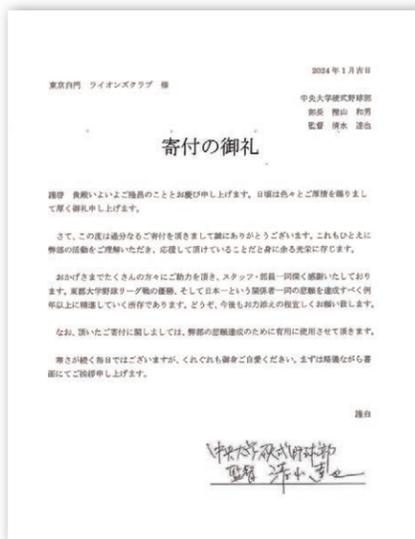


お知らせ

硬式野球部より 寄付のお礼状

東京白門ライオンズクラブより中央大学硬式野球部への寄付金をお渡しいたしましたところ、清水達也監督よりお礼状が届きましたのでお知らせいたします。

ただいま令和6年度東都大学春季リーグ真っ最中!! 優勝を祈願して神宮球場で応援しましょう!!



お知らせ

真打昇進・林家つる子師匠へ 「後ろ幕」を寄贈

昨年の20周年記念大会やお花見例会など、当クラブの例会に幾度となくゲスト参加して下さった学員の林家つる子師匠(平22文卒)が2024年3月に真打昇進となりました。落語協会では12年ぶりとなる抜擢真打(先輩11人抜き)となり、話題を呼んでいます。

この度当クラブでは、中央大学落語研究会はくらく会と共同で真打昇進披露興行に「後ろ幕」を寄贈いたしました。

真打昇進披露興行は3月21日から、上野・鈴木演芸場、新宿・末広亭、浅草演芸ホール、池袋演芸場、国立演芸場の順で行われています。残りは国立演芸場(5月21日・23日・24日)のみ!

ご予約は0570-07-9900(チケットセンター)へ。



林家つる子公式X (2024年3月29日更新)より

新入会員紹介



桂 やまと かつら・やまと
支援会員(スポンサー根岸清一L)
昭和49年8月30日生
平成11年文学卒
落語家(一般社団法人落語協会 真打)
東京荒川西ライオンズクラブ正会員、
文京区支部、荒川区支部、南甲倶楽部会員



住吉 宏明 すみよし・ひろあき
特別会員(スポンサー榎秀郎L)
昭和36年11月5日生
昭和62年理工学部卒
株式会社住設コーポレーション
代表取締役
白門江東区支部長、白門化学クラブ幹事長



藤田 裕司 ふじた・ゆうじ
特別会員(スポンサー榎秀郎L)
昭和36年3月6日生
昭和58年法学部卒
日本自動車ターミナル株式会社
代表取締役社長
白門会都庁支部、新宿白門倶楽部会員



7月より入会
鈴木 順子 すずき・じゅんこ
特別会員(スポンサー大越武雄L)
昭和18年1月25日生
故・鈴木誠先生令夫人



吉田 愛 よしだ・あい
正会員(スポンサー榎秀郎L)
昭和48年10月30日生
平成8年法学部卒(中央大学杉並高等学校卒)
中央大学大学院法学研究科(民事法専攻)博士
課程前期修了
Tulane University Law School(海軍法コース)
LL.M. 修了



7月より入会
石黒 敏子 いしぐろ・としこ
特別会員(スポンサー榎秀郎L)
昭和24年9月14日生
平成16年大学院卒(福原ゼミ)
Bon ジュリエ 株式会社大丸食品
代表取締役

会員増強委員長 榎秀郎Lから一言

盛大だった20周年記念大会が終了した途端に3名の元会長のご逝去、ご高齢による3名の退会がございました。白獅子会(学生支部)をはじめ、この時期にご入会いただいた皆様には殊に賛意を表します。ありがとうございます。

故・程塚良男L (元・中央大学応援団監督)を 偲ぶ会



主催: 港白門会、中央大学応援団OB

2024年6月16日(日) 於 東京プリンスホテル
詳細は、後日ご案内状をもってお知らせいたします

編集後記

今回も多くの方に入会いただきありがとうございます。しかし、この4カ月間で大切な仲間が3名も戻らぬ旅へと発ってしまいました。謹んでご冥福をお祈りいたします。白門ライオンズの会報は、我がクラブも財政的に苦しいなかの発行ですが、創意工夫を重ねた広報活動により多くの白門会報ファンが生まれたと、自画自賛しております。

【L大越武雄・記】

Quarterly of Lions 2024.1-2-3-4 No.32

発行日 2024年4月27日
 発行人 L根岸 清一
 編集/総務・広報委員会 委員長 L大越 武雄 副委員長 L茂岡幹弥
 コーディネーター L榎 秀郎
 発行所 東京白門ライオンズクラブ
 事務局 八王子市南大沢3-14-4-304 TEL/FAX.042-676-4147
 制作協力 株式会社 ノラ・コミュニケーションズ

白門ライオンズ会報 揮毫 L中山 正暉



2023.7 ~ 2024.6

白門ライオンズの誓い
我々は、会員相互の友情
の絆を基に、同窓・学員の
信頼を深め、知性の根源
である中央大学の発展に
寄与することを誓う。
東京白門ライオンズクラブ

クラブスローガン

白門の絆を奉仕で結ぶ母校愛

東京白門ライオンズクラブ

白門ライオンズクラブ 🔍

<http://hakumon-lions.org>